

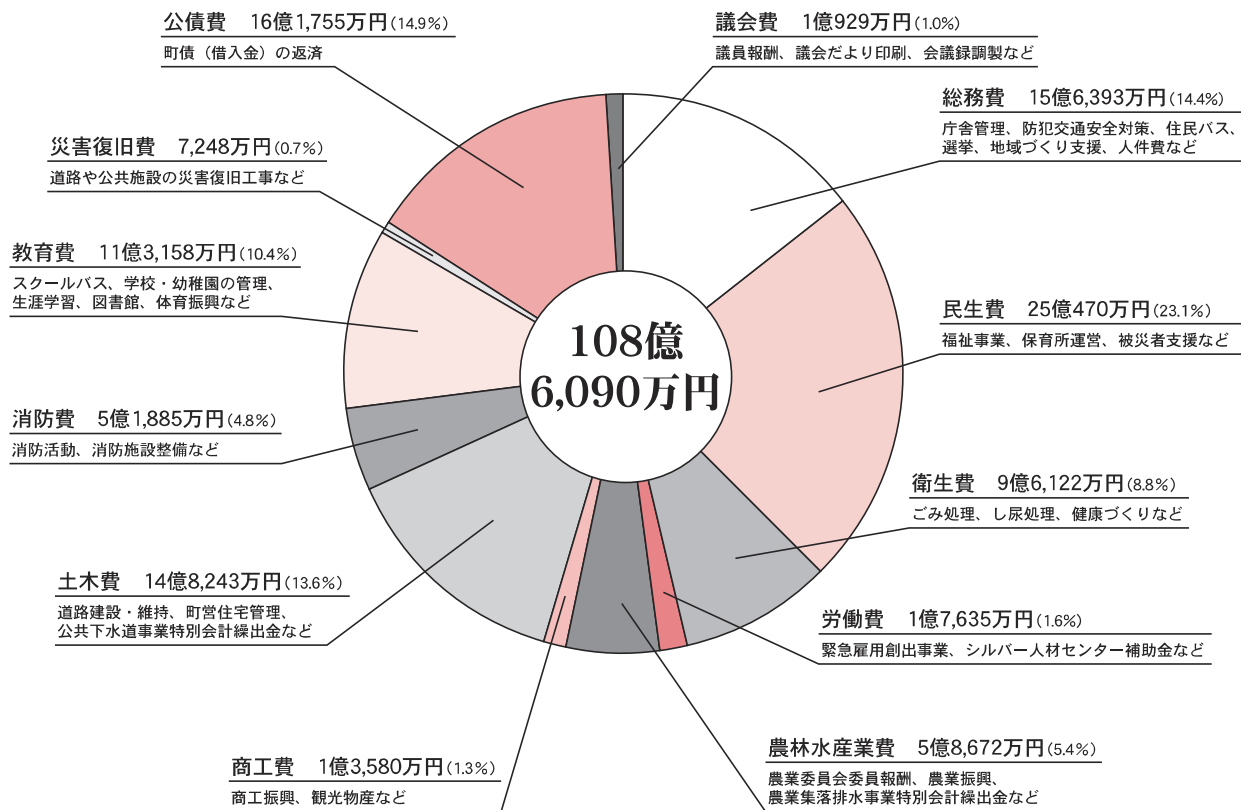
まちの財政の概要

～平成25年度各会計決算から～

平成25年度の一般会計と各種特別会計の決算が、9月の町議会定例会において原案どおり承認されました。平成25年度の決算の概要についてお知らせします。

一般会計の決算

歳 出



歳入歳出とも大きく減少

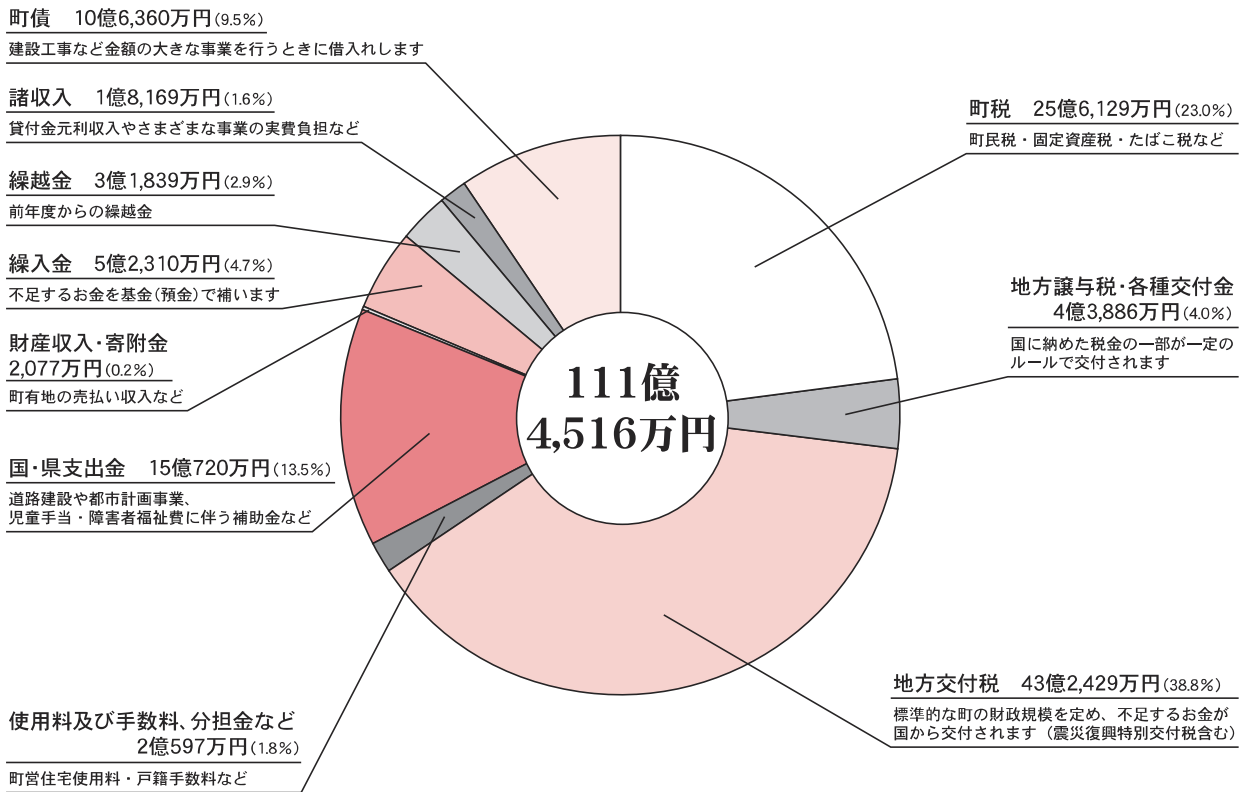
平成25年度の一般会計の歳入決算額は111億4,516万円、歳出決算額は108億6,090万円となりました。前年度と比較して歳入では19億8,482万円の減、歳出では18億5,069万円の減となり、東日本大震災の復興・復興事業費の減少に伴い、ともに大きく減少した結果となりました。

災害公営住宅を整備

平成25年度の大きな事業としては、東日本大震災により住居を失った被災者の生活再建を支援するため、平成24年度から総事業費6億1,121万円をかけて、町内3地区に40戸の災害公営住宅の整備を進めてきましたが、平成25年9月に完成し、平成25年10月から入居を開始しました。



歳入



歳入のうち町税は25億6,129万円で、前年度と比較して1億4,844万円増加しました。主に町民税の増加によるもので、町税の徴収率は93.7%で、前年度より2ポイント上昇しました。

平成25年度決算の実質収支額

歳入111億4,516万円－歳出108億6,090万円－繰越財源4,659万円＝2億3,767万円

歳入から、歳出と次年度へ繰り越しすべき財源を差し引いた実質収支額は、2億3,767万円となり、そのうち1億2,000万円は、後年度に備えて財政調整基金に積み立てました。

特別会計の決算

各特別会計の歳出決算額を前年度と比較すると、国民健康保険特別会計で2.7%の減、後期高齢者医療特別会計で4.3%の増、介護保険特別会計で2.6%の増、公共下水道事業特別会計で30.4%増、農業集落排水事業特別会計で19.6%の増となりました。公共下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計の増えた要因は、利息の高い地方債から利息の低い地方債へ借り換えを実施したことによるものです。

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	33億2,041万円	31億2,165万円
後期高齢者医療特別会計	2億6,117万円	2億6,001万円
介護保険特別会計	21億3,443万円	20億6,729万円
公共下水道事業特別会計	9億9,024万円	9億7,388万円
農業集落排水事業特別会計	5億6,565万円	5億5,966万円

※特別会計は、特定の事業を行う場合などにおいて、経理を他の会計と区別する必要があるとき、法律や条例に基づいて設置される会計です。

◇水道事業会計

【収益的収支】 収入額 6億4,436万円（消費税等抜き6億1,519万円）
 支出額 6億6,112万円（消費税等抜き6億3,848万円）
 差引額 消費税等抜きで2,329万円の純損失

【資本的収支】 収入額 2億813万円
 支出額 3億8,546万円
 差引額 1億7,733万円の不足

差引不足額については、当年度分損益勘定留保資金、減債積立金、建設改良積立金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しました。

◇病院事業会計

【収益的収支】 収入額 6億6,894万円（消費税等抜き6億6,636万円）
 支出額 6億8,249万円（消費税等抜き6億8,042万円）
 差引額 消費税等抜きで1,406万円の純損失
 累積欠損金の額は、4億633万円となりました。

【資本的収支】 収入額 8,651万円
 支出額 1億1,555万円
 差引額 2,904万円の不足

差引不足額については、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

町債の借入額・償還額・年度末残高

区 分	平成24年度末残高	平成25年度借入額	平成25年度償還額	平成25年度末残高
一 般 会 計	140億3,828万円	10億6,360万円	14億2,505万円	136億7,683万円
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	40億7,212万円	4億4,640万円	4億60万円	41億1,792万円
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	29億8,227万円	2億890万円	3億3,829万円	28億5,288万円
水 道 事 業 会 計	39億6,107万円	1億7,670万円	2億3,351万円	39億426万円
病 院 事 業 会 計	7億5,404万円	4,500万円	6,784万円	7億3,120万円
計	258億778万円	19億4,060万円	24億6,529万円	252億8,309万円

一般会計の平成25年度末の町債残高は、平成24年度末残高に比べて、3億6,145万円の減額となり、136億7,683万円となりました。町債全体でも5億2,469万円の減額となりました。

基金の増減

区 分	平成24年度末の現在高	平成25年度末の現在高	増 減
一般会計 財政調整基金	13億4,159万円	14億3,953万円	9,794万円増
一般会計 減債基金	2億8,659万円	2億8,670万円	11万円増
一般会計 その他目的基金	24億7,896万円	26億5,010万円	1億7,114万円増
国民健康保険特別会計 財政調整基金ほか	4億3,650万円	4億9,664万円	6,014万円増
介護保険特別会計 介護給付費準備基金	9,675万円	2,682万円	6,993万円減
計	46億4,039万円	48億9,979万円	2億5,940万円増

介護保険特別会計の介護給付費準備基金は減額となりましたが、一般会計と国民健康保険特別会計の基金現在高は増額となり、基金全体で2億5,940万円の増額となりました。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく 健全化判断比率及び資金不足比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律は、地方公共団体の財政の健全化に関する比率の公表の制度を設け、当該比率に応じて健全化のための計画策定や行財政上の措置が講ぜられることを目的に制定されたものです。この法律の規定により、美里町の平成25年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果についてお知らせいたします。

1 健全化判断比率

区 分	平成24年度	平成25年度	前年度対増減	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	13.97%	20%
連結実質赤字比率	—	—	—	18.97%	30%
実質公債費比率	14.8%	14.3%	△0.5	25.0%	35%
将来負担比率	82.9%	75.2%	△7.7	350.0%	—

- ◇実質赤字比率：一般会計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。本町の一般会計は過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。
- ◇連結実質赤字比率：公営企業会計を含む全会計の合計が赤字か黒字か判断する比率です。赤字のときのみ数値が記載されます。過去のいずれにおいても黒字となり赤字はありません。
- ◇実質公債費比率：公債費等の町がその年度に返済すべき金額が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります。(25%超で黄信号、35%超で赤信号)
- ◇将来負担比率：町が将来にわたって抱える負担すべき金額（町債の借り入れやリース契約などで支払いが確定している金額）が、町の標準的な収入金額に対してどのくらいの比率になっているのかを示す数値です。本町は年々減少傾向にあります。(350%超で赤信号)

2 資金不足比率

公営企業会計ごとの資金の不足額の事業規模に対する割合です。公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

本町の公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、水道事業会計及び病院事業会計すべてにおいて資金不足額はありません。

都市計画税の使い道 (平成25年度都市計画税 9,577万円)

町では、都市計画税を徴収しています。これは公園や街路、下水道など、都市計画に関連する事業に使用する目的税で、平成25年度は9,577万円が徴収され、充当の対象事業費は2億9,157万円でした。不足分は一般財源から支出しています。

都市計画税充当事業等	決算額 (A)	補助・起債等 (B)	都市計画税充当対象事業費 (A)－(B)
公共下水道の整備及び これまでの公共下水道整備地方債償還金	8億3,345万円	5億8,651万円	2億4,694万円
公園の整備及び これまでの都市計画事業地方債償還金	5,753万円	1,290万円	4,463万円
計	8億9,098万円	5億9,941万円	2億9,157万円

平成25年度は、西館地区や本小牛田地区などで公共下水道の建設工事が行われ、その工事の一部とこれまで実施した工事で借り入れた地方債の償還金の一部に都市計画税が充当されました。また、駅東地区の公園整備の一部とこれまでに実施してきた都市計画事業で借り入れた地方債の償還金の一部にも充当されました。